

回覧

ライチョウをまもる  
地球をまもる



〜 神の鳥・ライチョウの

令和4年度 さかきふれあい大学講演会

復活を目指して〜

世界で唯一人を恐れない特異な集団でもあり、国の特別天然記念物に指定されている日本のライチョウは、氷河期以来世界最南端の地で今日まで生き残ってきた貴重な集団です。日本のライチョウの現状と課題を広く知っていただくために講演します。

講師：中村 浩志 先生

一般財団法人 中村浩志国際鳥類研究所 代表理事  
信州大学名誉教授・坂城町特命大使



開催日：2022年5月22日(日)

午後2時00分～午後3時40分(開場：午後1時30分)

会場：文化センター 大会議室

主催：さかきふれあい大学・坂城町教育委員会

入場  
無料

定員70名・要事前申込



## ■中村浩志 先生のご紹介

1947年	長野県埴科郡坂城町南条に生まれる
1969年	信州大学教育学部卒業
1977年	京都大学大学院で博士号を取得
1992年	信州大学教育学部教授
2006年～2009年	日本鳥学会会長
2012年4月	同大学特任教授・名誉教授
2013年～2017年	坂城町教育委員長
2015年～現在	一般財団法人 中村浩志国際鳥類研究所代表理事

専門は鳥類生態学。これまでの主な研究は、カワラヒワの生態研究、カッコウの托卵生態と宿主との相互進化に関する研究、ライチョウと保護に関する研究

## ■主な著作

- 『ライチョウを絶滅から守る！』2018年（しなのき書房）
- 『二万年の奇跡を生きた鳥 ライチョウ』2013年（農山漁村文化協会）
- 『歩こう神秘の森 戸隠』2011年（信濃毎日新聞社）
- 『雷鳥が語りかけるもの』2006年（山と溪谷社）
- 『甦れ、ブッポウソウ』2004年（山と溪谷社）
- 『千曲川の自然』1993年（信濃毎日新聞社）

